

産業腰痛予防ワークショップ

働く人たちの 腰痛予防に取り組んでみませんか？

産業保健分野で腰痛予防対策を実践するためのワークショップ。
腰痛の分類・評価・治療アプローチと腰痛予防の事例紹介、グループワークを含む2日間の講習会です。

Day1

2019年 5月11日(土) 13:00~18:45

「"分類"に基づく腰痛に対する理学療法」



谷口英一 先生 (こしらボ)

非特異的腰痛を機能障害別に分類するための評価法や治療戦略をレクチャー。座位や立位で簡単に行える評価・治療方法、セルフエクササイズも紹介する。

「慢性腰痛への対応とリスク管理」



辻村孝之 先生 (Physio)

生物心理社会モデルによる多角的かつ統合的なアプローチのため、理学療法士による問診、発痛源の評価、リスク管理などについて経験を踏まえて提案する。

「企業・自治体・健保組合からの仕事を通じて理学療法士ができること」



坂元玲介 先生 (P-BASE)

企業に対する個別指導、健康サポートチーム形成、メンタルサポートの取り組みの事例紹介と、企業価値を高めるための施策、導入方法や継続のコツなどをお伝えする。

講義と実技

Day2

5月12日(日) 9:00~16:00

「産業腰痛予防に取り組むために理学療法士として出来ること -腰痛に対するマネジメントの考え方-」



加藤邦大 先生 (千葉メディカルセンター)

就業中の持続姿勢や反復動作と症状の関係をMSIコンセプトから考え、腰痛の評価とマネジメント方法などについてディスカッションする。

「骨盤底筋群の過緊張と腰痛」



田舎中真由美 先生 (フィジオセンター)

骨盤底筋群と腰痛・股関節の機能低下について解説。機能解剖と筋機能評価、セルフケアや日常生活での工夫も紹介。

事例紹介

「自治体職員に対する腰痛予防の取り組み」



大田幸作 先生 (フィジオセンター)

腰痛予防教室と個別指導について、きっかけや経過・内容を紹介。現場で抱える問題点の抽出、腰痛予防を提供する側と提供される職員側との考え方や理解度の違いをどう埋めていくかなどもクローズアップする。

グループワーク

Group work

グループワーク、発表



主催:フィジオセンター

会場:インターリハ(株)本社 セミナールーム

人数:40名

対象:理学療法士

受講料金:16000円(消費税別)

お申込み・お問い合わせ:<http://www.irc-seminar.jp/specialist/000294.html>

